東北工業大学の“今”を伝える広報誌

工大広報

No.290
Summer 2018
2018年8月31日発行
（年4回発行）

2018年8月31日発行（年4回発行）

Q&A VOICE

工大生100人に聞きました

各学科の新しい動き
就職サポート制度と先輩からのアドバイス

オープンキャンパス電気電子工学科の学生スタッフと展示ロボット

創造から統合へ―仙台からの発進
東北工業大学
TOHOKU INSTITUTE OF TECHNOLOGY

Q&A VOICE

工大生100人に聞きました

学科名と略表記／E：電気電子工学科／T：情報通信工学科／A：建築学科／C：都市マネジメント学科／K：環境エネルギー学科／CD：クリエイティブデザイン学科／SD：安全安心生活デザイン学科／MC：経営コミュニケーション学科

専攻名と略表記／E：電子工学専攻／T：通信工学専攻／A：建築学専攻／C：土木工学専攻／K：環境情報工学専攻／D：デザイン工学専攻
※氏名の後の（ ）内は出身地

Q 大学生になって変わったことは？

A 1年生 VOICE

- 地元から離れ一人暮らしになり、生活環境も生活リズムも全てが新しくなりました。…… E 星 秀佳（福 島）
- 自由意志で行動できる機会が増えましたが、それに対する責任も増えました。…… E 安倍 凜生（宮 城）
- 一人暮らしで生活費のことを考えるようになり、お金を使うことに慎重になりました。…… E 佐藤 卓弘（青 森）
- その日によって授業の個数や時間が違うのが新鮮です。…… T 菊池 和磨（宮 城）
- いままでと違い行動範囲が広くなったことにより、世間への価値観が変わったことです。…… T 亀谷 悠翔（宮 城）
- メリハリのついた生活ができるようになりました。…… T 菅野 智弥（宮 城）
- 使うお金が増えて毎日課題とバイトに追われていますが、充実していてとても楽しいです！…… A 黒田 廉（宮 城）
- 今まで制服だったけれど大学生になり毎日服を考えなければならないので少し大変です。…… A 宮鹿野彩花（宮 城）
- 一人暮らしを始めて家事を自分でするようになり感謝する心をもつことができました。…… A 多田 遥香（岩 手）
- 生活のリズムが大きく変わり、前よりも時間の使い方について考えるようになりました。…… C 鎌田 優（宮 城）
- 一人暮らしになって、全て自己責任になったので体調管理に気を遣うようになりました。…… C 小林 琴音（新 潟）
- 電気や水の無駄遣いをしないよう、節約に気を遣うようになりました。…… C 佐々木花菜（宮 城）
- 生活のリズムがはっきりして、早寝早起きができるようになりました。…… K 佐藤 熙彦（宮 城）
- 自炊するようになったことです。母の大変さがやっと分かりました。…… K 杉山 大河（青 森）
- 早起きをするようになり、家を早めに出るようになりました。…… K 菅原 愛理（岩 手）
- 一人暮らしになり、すべて自分でやらなければいけなくなったことです。…… CD 吉泉 快（青 森）
- 自己管理を意識して考えるようになった。1ヶ月単位で物事の目標を考え、行動する。…… CD 松野 佑亮（青 森）
- 自分のしたい事をどう充実させていくのかという自分の時間の考えが変わりました。…… CD 大沼 紗采（宮 城）
- 時間を上手く使うことで自分のために有意義な時間を作ることができる。…… SD 藤 航瑛（岩 手）
- 自由が増えたことです。スケジュールを全て自分で管理するので責任もあります。…… SD 白澤 七海（岩 手）
- 交流する年齢層が変わり、様々な人と出会うようになった。…… SD 三浦 明大（宮 城）
- 専門の授業で学んだことを自分の生活に当てはめて考えるようになったことです。…… MC 齋藤 歌音（福 島）
- アルバイトなどで時間を取られるため自分の１日のスケジュール表を作るようになりました。…… MC 越後 裕仁（宮 城）
- 講義が自分の興味のある内容なので、今までよりも進んで勉強するようになりました。…… MC 鈴木 芽衣（宮 城）

Q 今、1番気になることはなんですか？

A 2年生 VOICE

- 資格取得のための効率の良い勉強方法です。…… E 笹森 拓夢（宮 城）
- 火星へのテラフォーミングがいつ実現するのか気になります。…… E 小野寺 碧（岩 手）
- ゲームです。…… E 佐藤 天雅（秋 田）
- 去年拾った子猫がやんちゃ過ぎるので、いつになったら大人しくなるのか気になります。…… T 斎藤 遼誓（宮 城）
- 就職活動についてです。…… T 今野 春樹（宮 城）
- 新しいバイト先に馴染めるかどうかです。…… T 阿部 竜大（宮 城）
- 建築の分野からどうすれば将来モータースポーツの世界に関われるかが気になります。…… A 原 悠斗（福 島）
- 就職活動を行って妥協せずに自分がやりたい職につけているか気になります。…… A 佐藤あかり（宮 城）
- ２年生になって課題が増え、スケジュール管理が大切だと思いました。…… A 三上亜沙美（宮 城）
- 私が一番気になる事は、自転車です。通学手段として、毎日24km以上走っています。…… C 齋藤 雅俊（宮 城）
- しっかりと、単位が取得できるのかが気になります。…… C 天間 皓大（青 森）
- 八木山シャトルバスの八木山動物公園駅行き最終便の台数が足りていないことです。…… C 佐々木 快（宮 城）
- どうして豆腐は美味しいのでしょうか？知りたいです。…… K 橋元 貴紀（宮 城）
- 生活が成り立つほどの年金が貰えるか気になります。…… K 千葉 爵輝（神奈川）
- 少年漫画「D.Gray-man」（星野桂）の最新刊の発売日が気になります。…… K 渡辺 稜（宮 城）
- 自分の将来。卒業後の自分。行方。…… CD 谷 美夏海（青 森）
- コンビニのホットスナックを買うのを我慢する方法が知りたいです。…… CD 遠藤 妙（宮 城）
- 猫の体毛がやたらと抜ける為に暗い色の服を着るとエラい目立つこと(猫の毛が)。…… CD 大柳 麻那（宮 城）
- 春に生まれた子ヤギの角がどれくらい大きくなるのか気になっています。…… SD 大川慎ノ介（青 森）
- 自分の健康です。おすすめの健康食品があれば教えてください。…… SD 今野 優（宮 城）
- 将来、自分がどんな仕事をして、どんな生活をしているのかが気になります。…… SD 中川 萌香（宮 城）
- 次に行く海外旅行が気になっています。友人の誘いもあり、韓国に行ってみたいです。…… MC 櫻下 桃子（宮 城）
- Count Down Japan18/19の出演アーティストの顔ぶれが気になります。…… MC 佐々木稜翔（宮 城）
- 今自分が一番気になっていることは、どうして東北工大はヤギを飼い始めたのかです。…… MC 小早川 洸（宮 城）
- ネパール人など外国人が日本でインドレストランを開く理由が気になっています。…… MC 櫻井 大海（宮 城）

3年生 VOICE

A

Q 将来の目標はなんですか？

- 第一志望の企業に入社し、安定した生活を手に入れて、両親に親孝行することです。…… E 庭 滉詩郎 （岩 手）
- 人々の役に立ち、やりがいを感じられる職に就き、両親に楽をしてもらうことです。…… E 今野 颯 （青 森）
- 給料を貯金して、家族のために使ったり学生の時貯金が無くて諦めたことをしたいです。…… E 大石 綾香 （宮 城）
- 警察と密に関わる仕事をしたいと思っています。…… T 海原 直樹 （宮 城）
- サイバーセキュリティに関わる仕事に就きたいです。…… T 千葉 翔也 （宮 城）
- 地元の山形に就職し、仕事も趣味も充実した生活を送ることです。…… T 會田 純人 （山 形）
- 私の将来の目標は、建築で建物を建て、ご飯を食べていける人間になる事です。…… A 千葉 百華 （青 森）
- 私は将来、内装設計やインテリア、住宅設計の仕事に携わりたいと考えています。…… A 三浦 真梨 （宮 城）
- 私の目標は自分の設計事務所を設立し、世界的に活躍できるような建築家になる事です。…… A 渡部 成那 （宮 城）
- しっかりとした技術者になって OB の方々と働いてみたい。…… C 高橋 成畝 （山 形）
- 土木技術士になりたい。…… C 近藤 達寛 （宮 城）
- 地図上に名前が残るものをつくれるような技術者になります。…… C 東瀬 昇大 （宮 城）
- 大学で学んだことを活かして、エネルギー開発に携われる仕事に就きたいです。…… K 及川 朋克 （宮 城）
- 好きなことで生きていきたいです。…… K 本田 和輝 （宮 城）
- 大学とバイトで得た知識と技術を活かして、分析関係の仕事をしたいです。…… K 柳沼 慶行 （神奈川）
- 大学を無事卒業し、奨学金を返済していきたいです。…… CD 佐々木博隆 （宮 城）
- 自分の趣味を理解してくれる人と出会い、幸せな家庭を築く。…… CD 髙橋 葵士 （宮 城）
- 工大で学んだデザイン思考をもとに、社会に貢献できる職に就くことです。…… CD 加賀 華子 （宮 城）
- ロックバンドで成功を収め、ウェンブリースタジアムでライブをしたい！！！！…… SD 川村 大地 （宮 城）
- 地域の人たちと関わることができる仕事に就きたいです。…… SD 紺野 仁希 （岩 手）
- 今より人間的に成長して、たくさんの人と関わり楽しく過ごすことです。…… SD 大村 琴里 （宮 城）
- 私の将来の夢は自分と企業のカラーがマッチした充実を感じられる仕事につくことです。…… MC 大沼 詩奈 （宮 城）
- 私は将来、自分の持ち味である英語の力を生かすことができる活動を行っていきたいです。…… MC 角田 皓介 （宮 城）
- 私は情報処理や簿記などを学び、将来的には事務関係の職業に就きたいと考えています。…… MC 三浦 早貴 （福 島）

A

4年生 VOICE

Q 後輩にひとこと言うとすれば？

- 人生を生きていくには健康が一番です。皆さまも健康な大学生活をお過ごしください。…… E 菊池 遼太郎 （岩 手）
- 課外活動や資格試験には積極的に挑戦しましょう。後で必ず役に立ちます。…… E 大河原 勇人 （山 形）
- チャンスを無駄にしないこと。資格、課外活動、海外留学… 興味を持ったら即チャレンジ！…… E 佐藤玲央南 （宮 城）
- 自分から進んで学ぶ意識を持つと、見る世界が変わります。…… T 平川 蓮 （宮 城）
- 大学でいう勉強とは講義が全てではないと思います。積極的に時間を使いましょう。…… T 春日 悠人 （福 島）
- 私の私による、私のための学生生活を送りましょう。…… T 阿部 倫志 （福 島）
- バイトして、いっぱい旅行とか行って、課題に負けずに遊ばないともったいないです！！…… A 湯村真梨奈 （宮 城）
- たくさん休暇が取れるのは学生のうちだけなので思い切って海外旅行すると良いです。…… A 岡本 優花 （青 森）
- 勉強しているという意識が無い部分で勉強するということです。強いていえば遊びも勉強。…… A 宍戸 且典 （宮 城）
- 1･2･3 年生は遊びまくって４年生は早めに就活に動いた方がいいです。…… C 金子 祐 （宮 城）
- 自分のやりたいことを明確にし、就職活動は早めに行動すると良いと思います。…… C 石田 直輝 （宮 城）
- インターンシップなどを通して自分のやりたいことを決めておくことが大切だと思います。…… C 嵐田 優作 （秋 田）
- 希望する研究室に入るために、しっかりと1年生から勉強を頑張ることが大切です。…… K 粟生田静輝 （宮 城）
- 何か自分が打ち込めることを見つけてください。そこでの学びが大きな財産になります。…… K 伊藤 孝優 （秋 田）
- 就職はまだ先のことだと思わずに、今からでも企業研究を始めた方が良いと思います。…… K 岩田希里生 （青 森）
- 学生のうちにしかできないことを全力でやってたくさんの経験を積むといいと思います。…… CD 一関 優花 （宮 城）
- ４年生と下級生があまり親しくなれる機会が少ないので、もっと話しましょう。…… CD 石橋 雅哉 （宮 城）
- SPI は４年生が始まってから対策だと遅いです。…… CD 阿部 柚希 （宮 城）
- 就活は焦らずに行きたい所を選びましょう。周りが決まっても焦ることは無いです。…… SD 田村 和真 （岩 手）
- この４年間でしかできないことをしっかり考えて実行してください。…… SD 酒井 崇弘 （山 形）
- 勉強、部活、遊びの時間をしっかりと切り替えて、全てに全力を注いでください。…… SD 二瓶 晴香 （宮 城）
- 今しかできない事、部活やサークル活動などを精一杯頑張り、遊んでください。…… MC 大友 洋人 （宮 城）
- 何か夢中になれるものを見つけ追求する事で４年間を有意義な時間にしましょう。…… MC 荒谷 優菜 （秋 田）

A

大学院生 VOICE

Q 学部との違いはなんですか？

- 大学院では研究期間が２年あるので、長期の研究ができるようになります。…… E 薄井 晶子 （宮 城）
- 研究目標の達成に向けてしっかりとした根拠を基に試行錯誤することを求められます。…… T 銭谷 英李 （宮 城）
- 講義数が少ないため、研究や建築士の勉強など自分のための時間に使うことができる。…… A 佐藤真太郎 （宮 城）
- 研究に励める時間が増えることで問題解決力や広い範囲で物事を考える様になります。…… C 大竹 司真 （新 潟）
- 講義の専門性が増し、研究では学会等を通して多くの研究者と議論することができます。…… K 浅沼 光吾 （岩 手）
- 自分で勉強の時間を管理することが多くなった。…… D 于 静瑶 （中 国）
- 少人数授業になり、ほぼマンツーマンで大変ですが、勉強･研究に集中でき充実しています。…… D 今川可南子 （青 森）

各学科の新しい動き

2学部8学科および共通教育・教職課程センターは、さまざまな取り組みをはじめています。
各学科の近況と、学生・教職員の活動を紹介します。

工学部 電気電子工学科

新入生学外オリエンテーション

柴田（しばた） 憲治（けんじ） 准教授

電気電子工学科は新入生122名を迎え、4月9日(月)～10日(火)に秋保温泉において学外オリエンテーションを行いました。初日には、学科の紹介に続いて、30年後の未来技術に関するポスターを制作するグループワークに取り組み、新入生同士の活発な議論・交流が行われました。二日目の朝には、制作したポスターについての新入生の発表と、参加教員による研究紹介を行い、午後には企業の工場を見学しました。新入生にとって、これからはじまる大学生活の不安を解消すると同時に、仲間との親睦を深める有意義な機会となりました。

グループワークに取り組む新入生

工学部 情報通信工学科

「アカデミック・スキルズ」の定着と向上に向けて

角田（つのだ） 裕（ひろし） 准教授

本学科では、必修科目「情報通信工学セミナー」において各研究室での少人数セミナーを交えて学生生活をきめ細かくサポートしています。そして現在、本科目の改革を教務委員の鈴木健一准教授を中心に進めています。主な目的は、大学生に不可欠な学びの技法「アカデミック・スキルズ」のさらなる定着と向上です。効果的かつ効率的なノートの取り方（ノートテイキング）、伝わりやすいレポートの書き方やプレゼンテーションの仕方などを指導しています。学生諸君にはこのセミナーをきっかけに地道な努力を続け、今後の実りある学びに繋げて欲しいと思います。

河野公一准教授によるノートテイキング指導

工学部 建築学科

学生の満足度を高める環境づくりを目指して

石井（いしい） 敏（さとし） 学科長・教授

今年度、新たに曹淼（そうびょう）講師を迎えました。建築構造が専門で構造設計でのICTや人工知能の活用を目指して研究されています。本学科の新たな活力になってくれるものと期待しています。さて、入学1ヵ月後に行った1年生アンケートでは、建築学科に入学して「大変よかった」という回答が34.7%（昨年22.4%）でしたが、「まだわからない」という回答も29.8%（昨年22.4%）ありました。学んでいる建築の専門科目は「難しい」けれども「楽しい」という声も多数ありました。卒業時の満足度100%を目指して、今年も充実した教育・研究、そして学びの環境づくりを展開して参ります。

1年生建築ワークショップ後の記念撮影
（2018/4/10）

工学部 都市マネジメント学科

新入生による都市研究

高橋（たかはし） 敏彦（としひこ） 学科長・教授

今年度は106名の新入生が入学いたしました。新入生による都市研究のための現地調査を5月12日(土)に実施しました。参加者は、新入生のほか都市マネジメント学科教職員11名と引率補助として大学院生等18名です。主題は、仙台市内の都市公園について「今後備えるべき防災・避難施設を提案せよ」です。指定された公園を9グループに分かれて、教員や引率補助の先輩からアドバイス等を受け現地調査を行いました。その成果は、各人1,000字以上にまとめ提出することになっております。現地調査の後には、ユアテックスタジアム仙台でベガルタ仙台vsサンフレッチェ広島戦を観戦しました。

富沢公園に着いた1グループの集合写真

ベガルタ仙台vs サンフレッチェ広島を観戦

工学部 環境エネルギー学科

発信力を備えた人材育成をめざして

山田（やまだ） 一裕（かずひろ） 学科長・教授

東北の学生の教育に携わっていつも感じるのは、コツコツと実直に学ぶ姿勢はいつも感心しますが、それをうまく周りに伝えられないもどかしさです。それだけで周りが評価してくれるような、ゆとりのある時代でもありません。他者と交わり、意見を出し合い、何かを作り上げ発信していく能力がますます重要です。本学科では、4月の新入生オリエンテーションで「おともだち作戦」と題して、ゲームやグループワークを通じた、"つながり"のきっかけ作りをしています。さらに、テーマ毎にアイデアを出し合って創作、発表してもらってます。些細な取り組みですが、楽しく、自信を持って学んで欲しいです。

"おともだち作戦"の創作発表

ライフデザイン学部
クリエイティブデザイン学科

新しいカリキュラムが始まっています

長崎（ながさき） 智宏（ともひろ） 准教授

クリエイティブデザイン学科の新しいカリキュラム「表現技術および同演習Ⅲ」（2年前期）についてご紹介します。この授業では、今日的なデザインに必要とされる技術を幅広く扱い、新しい表現力を身につけることを目的としています。映像や音楽などの私たちの身近にあるものを題材にし、それらを創造する手段としてコンピュータグラフィックスやプログラミングを学んでいます。初めて本格的な技術に触れ、難しく感じることもあるようですが、この経験を通して、学生のみなさんがそれぞれの表現を追求する基礎を固めて欲しいと願っています。

プログラミングを用いて音作り

ライフデザイン学部
安全安心生活デザイン学科

新教員の着任と103名の新入生を迎えて

伊藤（いとう） 美由紀（みゆき） 准教授

本学科の新任教員として、避難経路や地域防災による「まち」や「くらし」の形成に関する活動や研究をされている畠山雄豪准教授が着任されました。また今年度は103名の新入生を迎え、キャンパス内は日々賑やかさを増しています。

今春は例年より暖かく、次々と花も若葉も芽吹いていくのと同じように、新入生も緊張した面持ちから、あっという間に和やかな明るい雰囲気に変化していきました。

他学年の実践的な演習実習なども始まりました。彼らが充実した大学生活を過ごせるよう、教職員共々団結してサポートしていきます。

概論での住まい系ディスカッション

視覚障がい者の暮らしに関する実習

ライフデザイン学部
経営コミュニケーション学科

地域創生のために～自分ができるローカルアクトを起こす～

宮曽根（みやそね） 美香（みか） 教授

新カリキュラムにおける一連の地域関連講座の基礎、『地域創生論』(2年次必修) がスタートしました。学生たちは、地域創生とは何か、現状はどうか、誰が何をしてきたか等を、教員を含む複数講師の講義を通して理解します。その上で、『総合演習Ⅰ・Ⅱ』でどんな地域活動に自分が参加するかを決め、地域のために何ができるかを問い続けていきます。経営コミュニケーション学科的アプローチの一つのキーワードとして、コミュニティの「幸福度」が先日の授業で出てきました。学生たちにはそれぞれに「地域創生」のイメージをつかんでもらえたらと思います。

「地域創生論」授業風景

共通教育センター

LMS を利用した演習

高橋（たかはし） 哲徳（てつのり） センター長・教授

インターネットを利用して演習を行う学修支援システム（LMS＝Learning Management System）が本学に昨年度導入されました。共通教育センターでは、今年度の国語のプレースメント・テストでの利用に続き、通常の演習でもLMSが活用されています。例えば、1年次の「英会話」では、受講生は毎週LMSを使用して小テストを受け、また、各自が録音した英会話をLMS上で聴きながら文字に書き起こす演習を行っています。受講生の反応も良く、今後は定期試験もLMSを利用して実施予定です。新たな技術を積極的に導入しながら、新たな学びの形を探る試みが今広がりつつあります。

LMSを活用した「英会話」の授業の様子

教職課程センター

教職課程の 4 年生が教育実習を実施

中島（なかじま） 夏子（なつこ） 准教授

教職課程を履修する学生は、4年次に教育実習を行います。今年は、例年よりも少ない15名が教育実習に臨んでいます。今年の教育実習生のトップバッターは、建築学科の齋藤魁斗（さいとうかいと）君です。母校である仙台工業高校の建築学科で、5月上旬から2週間の教育実習を行いました。初日から授業を担当し、特に時間内に授業を上手に終わらせる事に苦労したようですが、教育実習の後半には、生徒との交流を楽しめる余裕も出てきて、達成感があったそうです。この教育実習を通して大いに学び、成長して欲しいと思います。

黒板とディスプレイを使いながら「建築構造」を教える齋藤魁斗君（建築学科４年）

就職サポート体制と先輩からのアドバイス

就職内定を得るために頑張る学生の皆さんをバックアップする取り組みや、就職支援スケジュールを紹介します。
また、就職活動中の学生や企業の現場で活躍する卒業生から、メッセージやアドバイスをいただきました。

就職委員会より

就職活動中のみなさんへ
“就職相談窓口の積極的な活用を！”

千葉（ちば）　則行（のりゆき）
就職委員長
都市マネジメント学科　教授

6月1日の選考開始から2カ月経って内々定一時ピークが過ぎようとしていますが、なかなか思うように就職活動が進まず悩みを持っている学生もいるようです。本当に自分にマッチした企業に出会うためには時間が掛かる場合もあります。そのような時、自己分析（適性業種・職種の選択）をはじめ、企業研究、志望動機、各種書類の書き方、面接対応等に関して適切なアドバイスを受けることによって、その後の活動がスムーズに行くことがほとんどです。キャリアサポート課をはじめ、学科の就職委員・研修指導教員、就職なんでも相談室、就職アドバイザー等に積極的に相談して下さい。根気強く、納得できるまで就職活動に取り組んでいきましょう。本学は全学挙げてみなさんを応援します。

今後の就職支援スケジュール

開催月	内容		対象
8月	インターンシップ実施	就職活動なんでも相談	1年･2年･3年･M1
	民間就職試験対策講座（夏期）（6日（月）・7日（火）・8日（水））		2年・3年・M1
9月	インターンシップ実施		1年･2年･3年･M1
	就職ガイダンス（後期オリエンテーション時　19日（水））		3年・M1
	公務員教養試験対策講座（9月15日（土）～12月1日（土））		1年･2年･3年･M1
	自己分析・エントリーシート対策講座 29日（土）		3年・M1
	就活支援講座		3年・M1
	学内合同企業説明会		4年・M2
10月	インターンシップ報告会		1年･2年･3年･M1
	公務員教養試験対策講座		1年･2年･3年･M1
	自己分析･エントリーシート対策講座 20日（土）		3年・M1
	就活支援講座		3年・M1
11月	公務員教養試験対策講座		1年･2年･3年･M1
	就活支援講座		3年・M1
	ヘア・メイク講座		3年・M1
	模擬面接		3年・M1
12月	就活支援講座		3年・M1
	模擬面接		3年・M1
1月	進路登録票提出		3年・M1
	模擬面接		3年・M1
2月	就職対策合宿研修「キャリトレ」（4日（月）～5日（火））		1年・2年・3年
	民間就職試験対策講座（春期）（6日（水）・7日（木）・8日（金））		2年・3年・M1
	就活支援講座		3年・M1
3月	合同企業説明会・進路指導集会（4日（月）・5日（火））		3年・M1

就活：就職活動
キャリトレ：キャリアトレーニング
M1：大学院 博士（前期）課程1年
M2：大学院 博士（前期）課程2年

相談窓口紹介

キャリアサポート課および長町キャンパス事務室では、学生の皆さんが就職活動を行えるよう万全の体制で、サポートに取り組んでいます。就職活動をするにあたって、疑問や悩み・不安を抱いたらお気軽にご相談ください。

また、昨今の就職環境の変化に対応するため、学外からも専門のアドバイザーを招き「なんでも相談」を開設して学生の就職活動に関するあらゆる相談に応じています。

利用するには事前予約が必要となりますので、キャリアサポート課または長町キャンパス事務室にお越しください。

八木山キャンパス

長町キャンパス

就職活動奮戦記

備えあれば憂いなし

春日（かすが）　悠人（ゆうと）　情報通信工学科　４年

自己分析と早めの行動が重要です。私は面接の度に自己分析の準備不足を感じていました。そして案の定第一志望を含む2社の不合格という結果を招くことになりました。しかし、その結果を受け止め、分析不足のため漠然としていた業種の志望動機などの内容をより細かく分析し、ひとつひとつ修正していきました。早めに就職活動を始めていたことから修正が間に合い、その後の面接では完璧に近い受け答えができたと思っています。面接官の方からも高い評価をいただくことができ、複数社からの内々定につながりました。

まずは自分を知ることから

粟野（あわの）　雄太（ゆうた）　経営コミュニケーション学科　４年

私は、就職活動中、常に自分の行動や考え方を意識して物事に取り組み、自己分析を日常の中で行っていました。分析を怠ると、行きたい会社が不明確となり出遅れてしまう可能性があります。そのため、まず自分を知り仕事選びの軸をしっかりと見つけることで、自分のやりたい仕事や業種を絞れると思います。それだけではなく、アンテナを常に張り視野を広げて就職活動をすることで、行きたいと思える企業を見つけることができると思います。様々な企業・業界の社会見学ができるのは、就活生の特権だと思い就職活動を楽しんでください。

卒業生の声

就活生に向けて

畑井（はたい）　咲乃（さきの）
日本電設工業株式会社
平成29年度
電気電子工学科卒業

私が就職活動で一番参考にしたのは、実際に会社で働いている先輩からの声でした。先輩から直接話を聞くことで、就職してからの不安がなくなりました。現在、私は鉄道の電灯電力という部門の勉強をしています。必要な資格が多いため資格取得に励んでいます。

就職活動は、自己分析と企業研究が大切です。説明会に参加することで企業について理解や関心が得られ、やりたいと思ったことに踏み出せると思います。また、キャリアサポート課や就活なんでも相談、学科の就職担当の先生などにも積極的に相談に行ってください。

一推しの作品を持とう

曽根（そね）　宏暢（ひろのぶ）
ワウ株式会社
平成29年度
クリエイティブデザイン学科卒業

私はスーツを着たくないという理由で、説明会などには1回も参加しなかった不届き者ですが後輩へのアドバイスということで1つだけ。「一推しの作品を持つ」です。これさえ見て頂ければ…と言える熱量の高い作品が1つでもあるだけで、面接などでも相手に与える印象がかなり違ってきますし、その作品がフックになってくれたりします。そして何よりそういう作品があるということが自分の就職活動を支える精神的な支柱になってくれるはずです。

入社して2ヶ月が経とうとしています。業務は忙しく覚える事も多く大変ですが、憧れの先輩たちに早く追いつけるように若さを生かして頑張っていこうと思っています。

平成30年度東北工業大学奨学生・成績優秀者賞受賞学生

平成30年度の東北工業大学特別奨学生8名、一般奨学生（学業成績、課外活動功績）80名、大学院奨学生7名が決定いたしました。特別奨学生（各学科1名）は当該年度の授業料が免除され、一般奨学生は月額13,000円、大学院奨学生は月額20,000円が給付されます。選考人数は、各学科の学生数に概ね比例していますが、課外活動功績者は学科枠にこだわらずに選考されました。

■東北工業大学奨学生

特別奨学生（8名）　当該年度の授業料が免除されます。

工学部					ライフデザイン学部		
電気電子工学科 2年 小野寺　碧	情報通信工学科 4年 狩野　孝介	建築学科 2年 中野　亜美	都市マネジメント学科　3年 照井　瑞生	環境エネルギー学科　3年 河村　直人	クリエイティブデザイン学科　3年 荒木　優花	安全安心生活デザイン学科　4年 佐々木　悠里	経営コミュニケーション学科　3年 菅木　奈摘

一般奨学生　当該年度、月額13,000円が給付されます。

学業成績（72名）

工学部										ライフデザイン学部					
E		T		A		C		K		CD		SD		MC	
学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名
4	大河原　勇人	4	丹内　愛理沙	4	後藤　瑛	4	大森　健広	4	齋藤　智輝	4	阿部　正和	4	菊地　李花子	4	浅野　希莉奈
4	菊池　遼太郎	4	宗像　一樹	4	髙橋　雄平	4	角力山　柊	4	鈴木　明日也	4	佐藤　一樹	4	小林　愛菜	4	太田　凌
4	渡邊　幹大	3	佐藤　一義	4	髙階　翔太	4	木村　駿吾	3	鈴木　直仁	3	二瓶　一真	4	田口　紗弥	3	関川　咲紀
3	小川　和敏	3	伊東　賢二	3	内沢　千尋	4	吉田　紘基	3	加藤　諒	3	中川　陽樹	4	吉川　采花	3	武田　莉奈
3	今野　颯	3	遠藤　輝人	3	高橋　大都	3	尾崎　文香	3	沼田　佳大	2	松田　愛海	3	大村　琴里	2	坂口　志穂
3	庭　滉詩郎	3	大友　開	3	髙橋　響	3	前田　智尋	2	加藤　健太	2	佐々木　優衣	3	小久保　優香	2	西塚　栞
3	宮崎　大輝	3	猿田　陸	3	三浦　真梨	2	長沼　柊			2	丹野　夕佳	3	紺野　仁希	2	早坂　京
3	西嶋　洲	3	菅原　龍一	2	今野　琢音	2	良原　東栄					2	佐藤　由理	2	沼山　いずみ
2	笹森　拓夢	3	千葉　翔也	2	鈴木　麻裕										
2	加藤　絢	2	内海　和弥	2	立花　莉乃										
		2	高橋　萩斗	2	渡邊　秋音										
		2	藤尾　健史	2	岩渕　明志人										
				2	原　悠斗										

課外活動功績（8名）

学科	学年	氏名	活動内容
A	4	米田　一	宅地建物取引士　資格取得
A	4	小野寺　紗希	宅地建物取引士　資格取得
A	2	兼子　太希	第70回山形県陸上競技選手権大会　走り高跳び　第3位
C	3	古里　恭平	平成29年度国民体育大会東北ブロック大会兼第44回東北総合体育大会（ボクシングの部）成年男子バンタム級　宮城県代表　第2位
C	2	芦　智稀	平成29年度東北地区大学準硬式野球春季リーグ戦　二部リーグ　最優秀新人賞　東北選抜選出
CD	4	伊藤　胡桃	第35回東北ライフル射撃選手権大会　10mAP40W　第1位・第72回国民体育大会　えひめ国体　ライフル射撃競技　秋田県代表
SD	3	庄司　恭啓	平成29年度仙台六大学野球春季リーグ戦　敢闘賞
MC	4	小牧　将	平成29年度第42回東北地区大学サッカーリーグ2部B　得点ランキング　第2位

東北工業大学大学院奨学生（7名）　当該年度、月額20,000円が給付されます。

電子工学専攻	通信工学専攻	建築学専攻	建築学専攻	土木工学専攻	環境情報工学専攻	デザイン工学専攻
博士（前期）2年 岩佐　琥偉	博士（前期）2年 斉藤　寛之	博士（前期）2年 伊藤　瑠都	博士（前期）2年 車塚　亜美	博士（前期）2年 川村　雄大	博士（前期）2年 鈴木　義史	博士（前期）2年 木村　一気

■成績優秀者賞　該当する学生に対し表彰式において表彰状の授与を行います。

学業成績（86名）

工学部										ライフデザイン学部					
E		T		A		C		K		CD		SD		MC	
学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名	学年	氏名
4	大河原　勇人	4	丹内　愛理沙	4	橘井　美保	4	大森　健広	4	市沢　らな	4	阿部　正和	4	菊地　李花子	4	浅野　希莉奈
4	菊池　遼太郎	4	宗像　一樹	4	後藤　瑛	4	角力山　柊	4	齋藤　智輝	4	佐藤　一樹	4	小林　愛菜	4	太田　凌
4	渡邊　幹大	4	狩野　孝介	4	髙橋　雄平	4	木村　駿吾	4	鈴木　明日也	3	佐々木　真央	4	田口　紗弥	4	大庭　圭人
3	小川　和敏	3	佐藤　一義	4	髙階　翔太	4	吉田　紘基	3	鈴木　直仁	3	二瓶　一真	4	吉川　采花	3	菅木　奈摘
3	今野　颯	3	伊東　賢二	3	内沢　千尋	3	尾崎　文香	3	加藤　諒	3	荒木　優花	4	佐々木　悠里	3	関川　咲紀
3	庭　滉詩郎	3	遠藤　輝人	3	高橋　大都	3	照井　瑞生	3	河村　直人	3	中川　陽樹	3	大村　琴里	3	武田　莉奈
3	宮崎　大輝	3	大友　開	3	髙橋　響	3	前田　智尋	3	木村　優希	2	松田　愛海	3	小久保　優香	2	坂口　志穂
3	西嶋　洲	3	猿田　陸	3	三浦　真梨	2	長沼　柊	3	沼田　佳大	2	佐々木　優衣	3	紺野　仁希	2	西塚　栞
2	小野寺　碧	3	菅原　龍一	2	今野　琢音	2	良原　東栄	2	加藤　健太	2	丹野　夕佳	2	佐藤　由理	2	早坂　京
2	笹森　拓夢	3	千葉　翔也	2	鈴木　麻裕									2	沼山　いずみ
2	加藤　絢	3	戸来　尋深	2	立花　莉乃										
		2	内海　和弥	2	中野　亜美										
		2	高橋　萩斗	2	渡邊　秋音										
		2	藤尾　健史	2	岩渕　明志人										
				2	原　悠斗										

大学院（9名）

電子工学専攻	通信工学専攻	建築学専攻	建築学専攻	建築学専攻
博士（前期）2年 岩佐　琥偉	博士（前期）2年 斉藤　寛之	博士（前期）2年 伊藤　瑠都	博士（前期）2年 車塚　亜美	博士（後期）2年 喬　文琪
土木工学専攻	**環境情報工学専攻**	**環境情報工学専攻**	**デザイン工学専攻**	
博士（前期）2年 川村　雄大	博士（前期）2年 鈴木　義史	博士（前期）2年 近藤　翼	博士（前期）2年 木村　一気	

学科名と略表記／E：電気電子工学科／T：情報通信工学科／A：建築学科／C：都市マネジメント学科／
K：環境エネルギー学科／CD：クリエイティブデザイン学科／SD：安全安心生活デザイン学科／MC：経営コミュニケーション学科

教室では語られない学生へ向けた先生のホンネを聞きました。

先入観を捨てて その先へ

野口（のぐち） 一博（かずひろ）
情報通信工学科　教授

私は学科の1年生のセミナーで、よく「12本の等長の棒を用いて、辺長が棒と同じ正三角形を8個作る」というクイズを出題します。上の図のように正八面体あるいは2個の正四面体を作るのが正解ですが、最初に下の図のような平面配置を見せると、平面にとらわれて立体配置が思いつかず、なかなか正解にたどり着けません。この例に限らず、何事にも先入観を捨て、視点を変えて見ることで、問題解決への道筋が見えてくることがあります。

皆さんも、何かに行き詰まった時、先入観にとらわれない柔軟な発想を心がけてみて下さい。

まずは やってみよう!

牧（まき） 雅康（まさやす）
環境エネルギー学科　准教授

私の研究室では、現地計測のためにタイやラオスの農村へ行きます。毎年、学生に“誰か行きたい人?”と尋ねますが、“面倒くさいから嫌です。”と言われます。行くことのメリットが見出せないようなので、具体例を挙げて何とか学生を説得しています。この時点では、まだ学生は騙されたような様子です。帰国後、“行ってみてどうだった?”と尋ねると、“自分の将来にプラスになる経験ができました。”と言ってくれます。これは一例ですが、自分の限られた知識で判断せずに、まずはやってみることで多くのことが得られると思います。

人とのつながりを 大切に

高木（たかき） 理恵（りえ）
安全安心生活デザイン学科　准教授

工大に戻って3年目に入りました。昨年は、私が卒業した工業意匠学科の創立50年で、私も実行委員の1人として記念事業の運営に携わりました。記念事業という大事を成し遂げることができたのは、多くの卒業生や関係者の方が様々な形で協力して参画してくださったからです。今は学科名称も変わり、キャンパスも八木山キャンパスから長町キャンパスへ移動して、カタチは大きく変化しましたが、受け継がれている貴重なものが多くあり、人のつながりもその1つであると実感しました。学生の皆様にも、人とのつながりを大切にして欲しいと思います。

caption 1 クイズの正解（8個の正三角形が作れます）

caption 2 平面配置（6個の正三角形しか作れません）

メコン川の渡し船を待っている学生たち

他大学の先生と学生、タイの研究者との夕食会

工業意匠学科創立50年記念パーティ集合写真

工業意匠学科創立50年記念事業実行委員会

台湾・中原大学の中国語・文化研修に参加しました

九族文化村にて友人たちとポーズ

仲間と一緒に台湾茶を楽しみました

インスタ映えを狙って

小旅行で行った九族文化村

チューターの2人とは友達です

他大学から参加した日本人学生と中原大学の先生

中原大学にて他大学生、中原大学生と一緒に

台湾・桃園市にある中原大学で、平成30年3月4日（日）～25日（日）（約3週間）の日程で開催された「中国語・文化体験プログラム」に、建築学科1年 今野 隆哉（現在2年）さんと経営コミュニケーション学科1年 櫻下 桃子（現在2年）さんが参加しました。

プログラムには中国語の授業と台湾文化を学ぶ授業があり、小テストなどもあり、初めて中国語に触れた学生には難しかったようですが、学生には中原大学生のチューターが付いて一緒に授業も受けて、互いに言葉が分からないなか、一生懸命にコミュニケーションを取っていたようです。

授業以外にも小旅行があり、博物館や美術館で台湾の歴史や文化を学び、台北市内・台南地区へはチューター学生達の案内で楽しい時間を過ごしたようです。

海外で生活も文化も違うところに身を置くことで、自らコミュニケーションを図り、試行錯誤しながら言葉を伝える努力、現地の人とのふれあいなどを通して、積極性と行動力が付いて、自分に自信を持てる体験になったようです。

タイ・泰日工業大学のクロスカルチャープログラムに参加しました

タイ国にある泰日工業大学（TNI）で、平成30年3月10日（土）～24日（土）の日程にて開催された「TNIクロスカルチャープログラム」に、環境エネルギー学科2年 伊藤 幸大（現在3年）さんが参加しました。

プログラムで行われる授業は全て英語で行われるため、英語力が試せるプログラムになります。授業ではタイの文化や経済などを学び、タイ料理やキックボクシングなどの体験授業もありました。課外活動でもタイの史跡巡りや自然に触れることが出来たようです。フリータイムに、泰日工業大学の学生や他大学からの学生達と一緒にバンコクのマーケットなどへ行き、食べたことのないものに挑戦したり、現地の人との値切り交渉を行ってみたりと、初めての体験だったようです。タイでは格差もあり路上で過ごしている人たちを見てショックを受けたようですが、自国と異なる現状を受け入れることも成長の一つとなったことでしょう。

今回は一人で仙台から旅立ち、多くの体験ができ、友人を得ることが出来たことは、新しい自分を見つけることができる体験になったようです。

現地で知り合った友人と

バンコクのマーケットにて友人達と

タイの名所、ワットアルン寺院

他大学の学生の友人と

タイのご飯

虫のから揚げに挑戦

タイの料理はボリューム満点

バンコクの夜景を見ながら

国際学会ICBIR2018に大学院生2名が参加しました

平成30年5月17日（木）～18日（金）にタイの泰日工業大学にて開催された国際学会「2018 5th International Conference on Business and Industrial Research」に本学より教員3名、大学院生2名が参加して、研究発表を行いました。

学会では、9か国125件の発表論文のうち、Outstanding Paper Award（優秀講演論文賞）を大学院博士（後期）課程 電気電子工学専攻1年 佐々木 大雅さんと、同じく大学院博士（後期）課程 通信工学専攻2年のビチャイディス・ナパパットさんが受賞しました。

ナパパットさん、会場看板前にて記念撮影

佐々木さん、会場看板前にて記念撮影

受賞したナパパットさん、TNI 学長と角田先生

受賞した佐々木さん、TNI 学長と藤田先生

地域連携センター・研究支援センターだより

■新入生を対象とした地域志向科目の開講

本学では、大学COC事業の一環として、新入生を対象に学科の垣根を超えた地域志向科目を必修科目として設置しております。今年度においても工学部では「地域とテクノロジー」、「地域防災減災論」、ライフデザイン学部では「コミュニティネットワーク論」の3科目を開講しました。初回には、今野 弘 学長による自校教育が行われ、本学が地域の産業・文化の発展に貢献できる人材を育成していることについて講義がありました。2回目以降は外部実務者などによる講義が行われ、学生にとって地域や企業への関心を高め、将来に向け貴重な情報を得る機会となっています。

今野弘学長による自校教育の様子

「地域とテクノロジー」講義の様子

「地域防災減災論」講義の様子

「コミュニティネットワーク論」講義の様子

■研究支援センターが創設されました

これまで地域連携センターでは、地域連携推進部門、産学官連携推進部門、研究・知財支援部門の業務を行ってまいりましたが、研究・知財支援部門の強化を図るべく、今年4月より、研究支援センターが創設されました。

研究支援センターでは、研究・知財支援業務をこれまで以上に充実させるとともに、先端的で特色のある研究を効果的に推進する「研究ブランディング戦略」を策定し、それを実行することが求められております。

地域連携センターも、地域振興、産業振興により深く関わっていきます。今まで以上に「モノ」「コト」「マチ」「ヒト」に貢献するべく進化した両センター、是非ご期待ください。

地域連携センター・研究支援センター組織図

■復興大学県民公開講座　今年もスタート

「この地で復興を考え・学ぼう」というテーマを掲げ、復興大学（事業代表校：東北工業大学）県民公開講座が今年もスタートしました。

開講を記念し、6月27日（水）に、宮城学院女子大学学長の平川新氏、宮城県建築住宅センター顧問の三部佳英氏を講師にお迎えし、開講記念シンポジウムを仙台ガーデンパレスで開催しました。

公開講座は、6月9日から11月3日までの土曜日午後、6科目30講座を一番町ロビーで開講しています。また、被災地の復興の現場を実際に見学することができる現場実習を、今年度はあと3回実施する予定です。1講座のみの参加も可能ですので、ご興味ある方は是非、お申し込みください（今からでも間に合います）。

石川 善美 副学長（学都仙台コンソーシアム復興大学部会 部会長）の挨拶

□平成30年度 入学式挙行

平成30年度入学式が、4月4日（水）に八木山キャンパス講堂において挙行されました。

学部生は851名、大学院生は博士（前期）課程30名、博士（後期）課程4名の新入生と、そのご家族が出席しました。式では、入学生代表として、情報通信工学科の横山（よこやま） 未有（みゆ）さんと通信工学専攻の銭谷（ぜにや） 英李（えり）さんが、それぞれ入学の辞を述べました。

■新入生の内訳

学部 851名

工学部	人数
電気電子工学科	122
情報通信工学科	138
建築学科	138
都市マネジメント学科	106
環境エネルギー学科	59
計	563

ライフデザイン学部	人数
クリエイティブデザイン学科	87
安全安心生活デザイン学科	103
経営コミュニケーション学科	98
計	288

大学院［博士（前期）課程］ 30名

工学研究科	人数
電子工学専攻	7
通信工学専攻	2
建築学専攻	13
土木工学専攻	3
環境情報工学専攻	2
計	27

ライフデザイン学研究科	人数
デザイン工学専攻	3
計	3

大学院［博士（後期）課程］ 4名

工学研究科	人数
通信工学専攻	2
建築学専攻	1
土木工学専攻	1
計	4

□学友会代表者会議報告

平成30年度学友会代表者会議が、4月27日（金）に開催され、学友会各団体の代表者が参加しました。会議では、平成29年度の決算報告ならびに監査報告が行われ、続いて平成30年度予算（案）が審議され承認されました。

■平成30年度 学友会予算

収入の部（単位：円）

科目		金額
会費		21,538,000
内訳	学部学生	21,275,000
	編入生・転学生	0
	大学院生	59,000
	教職員	204,000
前年度繰越金		12,493,797
雑収入		0
収入合計		34,031,797

支出の部（単位：円）

科目		金額
事業費	クラブ等援助費	17,290,000
	学科学生会援助費	4,507,000
	諸謝金	1,000,000
	北科大交流諸費	3,000,000
事務諸費	事務費	200,000
	旅費交通費	0
	印刷費	50,000
	雑費	100,000
	予備費	7,884,797
支出合計		34,031,797

□平成30年度　東北地区大学体育大会

東北地区大学体育大会は、東北全県を会場に14種目の競技が行なわれ、48大学約6,500名の学生が参加します。本学からは10種目に選手が出場を予定しており、早い種目では5月に試合が始まっています。各クラブとも本番に向けて調整に余念がないところですが、日頃の練習の成果を十分に発揮できるよう頑張ってほしいと思います。

■主　　催：東北地区大学体育連盟
■主管大学：東北大学
■参 加 者：東北地区大学体育連盟加盟48大学　約6,500名

競技種目	主管大学	開催日
陸上競技（男・女）	東北大学	9月29日（土）～9月30日（日）
水泳（男）	岩手大学	6月16日（土）～6月17日（日）
準硬式野球（男）	弘前大学	6月29日（金）～7月　1日（日）
テニス（男）	東北大学	8月20日（月）～8月24日（金）
ソフトテニス（男）	岩手大学	6月　9日（土）～6月12日（火）
バスケットボール（男・女）	福島大学	6月22日（金）～6月24日（日）
バレーボール（男・女）	山形大学	11月　3日（土）～11月　4日（日）
ハンドボール（男）	秋田大学	7月21日（土）～7月22日（日）
サッカー（男）	東北大学	6月　1日（金）～6月　5日（火）
ラグビー（男）	東北大学	6月16日（土）～6月17日（日）
バドミントン（男・女）	弘前大学	6月30日（土）～7月　1日（日）
剣道（男・女）	福島大学	7月　1日（日）
弓道（男）	山形大学	5月18日（金）～5月20日（日）
弓道（女）		6月　8日（金）～6月10日（日）
空手道（男・女）	秋田大学	6月10日（日）

□平成30年度 父母懇談会開催

本学後援会主催による父母懇談会が6月2日（土）の秋田・山形会場を皮切りに、8会場で開催されました。

また仙台会場を除く6県では、後援会県支部総会も開催されました。各会場には大学側から教職員が赴き、本学の近況報告が行われた後、学業成績や学生生活の状況などを中心に、保護者との個人面談を行いました。

また、6月9日（土）には、本学の八木山・長町両キャンパスにて開催され、今野 弘 学長、小林 正樹 工学部長、菊地 良覧 ライフデザイン学部長が、挨拶ならびに大学の近況を報告し、その後、保護者との個人面談が行なわれました。

個人面談の待ち時間には、施設の案内や学生の作品紹介があり、会場全体では500組を超える学生の保護者の方にご出席いただきました。

■平成30年度　後援会父母懇談会日程

開催日	開催地	会場
6月　2日（土）	秋田	秋田県JAビル
	山形	山形テルサ
6月　3日（日）	青森	青森観光物産館　アスパム
	新潟	万代シルバーホテル
6月　9日（土）	仙台	東北工業大学八木山キャンパス
		東北工業大学長町キャンパス
6月16日（土）	岩手	岩手県自治会館
	福島	杉妻会館

新任教職員紹介（2018年4月1日付）

工学部

建築学科　講師

曹（そう）　淼（びょう）

建築とICTのコラボレーションから生み出す新しい融合技術を研究しています。

ライフデザイン学部

安全安心生活デザイン学科　准教授

畠山（はたけやま）　雄豪（ゆうごう）

防災について施設や地域の避難からまちづくりまでミクロマクロの視点で取り組んでいます。

クリエイティブデザイン学科　助教

阿部（あべ）　寛史（ひろふみ）

書体デザインを研究しています。学生と共にデザインで社会に貢献していきたいです。

大学事務職員

地域連携センター事務室　事務長

羽生田（はにゅうだ）　光雄（みつお）

「念ずれば花開く」。工大の未来に、更に大きな花が咲くよう貢献したいと思ってます。

研究支援センター事務室　事務長

守（もり）　和彦（かずひこ）

積極的に外部資金研究や企業等との共同研究、特許関連の支援活動を行いたいです。

教務学生課　事務職員

鈴木（すずき）　あゆみ

学生の力になれるよう、東北工業大学に貢献していきたいと思います。よろしくお願いします。

長町校舎事務室　事務職員

奥寺（おくでら）　桜子（さくらこ）

より良い学校生活、環境を皆様に提供できるよう、責任を持って自らの役割を果たします。

学修支援センター

学修支援職員（学修支援教授）

加藤（かとう）　順一（じゅんいち）

学修及び社会人としての基礎をしっかりとしたものにしていきたいと考えています。

学修支援職員（学修支援教授）

志貴（しき）　一元（かずもと）

工大生の皆さんが専門への基礎と真の教養を身につけられるように物理の支援をします。

学修支援職員（学修支援教授）

瀬谷（せや）　和夫（かずお）

化学や数学の授業や実験をとおして未来のエンジニアとして活躍する工大生を支援します。

技術支援センター

教育支援系技術職員

澁谷（しぶや）　陽（あきら）

実験や実習を通して、学生に専門的な知識や技術をわかり易く伝えていきたいと思います。

教育支援系技術職員

鈴木（すずき）　知佳（ともよし）

本学の学生が実験を通して理論を会得し、社会で活躍する人財になるよう支援します。

◆宮城県警察大学生サイバーボランティアの委嘱式

情報通信工学科の学生が参加する宮城県警察大学生サイバーボランティアの委嘱式ならびに研修会が、5月16日（水）、宮城県警察本部で行われました。

この活動は、サイバー空間における県民生活の安全と平穏の確保に資することを目的とし、委嘱（活動）期間は1年間となります。

本学ではこの活動に2014年度から協力しており、今年も情報通信工学科 角田 裕 研究室の学生を中心に学部4年生6名と3年生3名の計9名が、宮城県警察大学生サイバーボランティアとして違法・有害情報の通報や広報啓発活動などを行います。

サイバーセキュリティ統括官のご挨拶

委嘱状交付の様子

◆img@tohtech FilmFes 1718を開催しました

猿渡　学　経営コミュニケーション学科 准教授

img@tohtech(東北工業大学イメージワークショップ)は、経営コミュニケーション学科の公認団体として、10年以上の活動実績のある映像制作集団です。短編映画、YouTubeLive配信、外部団体とのコラボ映像制作などをおこなっています。一年間の主な活動を報告するために、例年4月にせんだいメディアテーク7Fスタジオシアターで上映会を実施しています。2017年度はコラボ作品を中心とした上映会となりましたが、猿渡研究室の卒業制作作品『想い』では、初のcanon-logによる4K撮影にチャレンジし、ハイビジョンよりもさらに鮮やかな映像をお届けしました。

上映する短編映画のポスターでお出迎え

◆東北工業大学応援ツアー（硬式野球編）

本学学生の課外活動を「みる」・「ささえる」ことを目的に、5月12日（土）、東北工業大学応援ツアー（硬式野球編）を実施しました。

当日は、学生・教職員あわせて約100名が東北福祉大球場に集まり、仙台六大学春季リーグ戦（第6節）対東北大学戦を観戦しました。

今回の応援ツアーでは、東北工業大学後援会の協力を得て制作したスティックバルーンやメガホンなどの応援グッズを手に、吹奏楽部の演奏に合わせて、応援団・チアリーダーとともに選手達に熱い声援を送りました。応援の甲斐もあり、3対0で本学が勝利を収めました。

今後は他競技の応援ツアーも企画いたしますので、学生たちが活躍する姿にどうぞご期待ください。

スタンドから熱い声援が送られる様子

◆サイバーセキュリティカレッジの開催

松田　勝敬　情報通信工学科 准教授

情報通信工学科の専門科目「情報リテラシー」の授業の一環として、6月25日（月）にサイバーセキュリティカレッジが開催され、1年生が受講しました。

サイバーセキュリティカレッジは、サイバー犯罪の現状・対策などに関する周知と情報セキュリティに関する知識や意識の向上を目的とした講習会で、サイバー空間の安全確保に向けた取り組みのひとつです。

宮城県警察本部サイバー犯罪対策課より講師をお招きし、最近のサイバー犯罪の状況、SNSの利用に伴う危険性やその実例、対策などについてわかりやすく解説していただきました。また、本学の卒業生もサイバー犯罪対策課で活躍していること、この業界で働くことのメリットや業務についての説明もあり、将来の職業としての意識も高まったと思います。

サイバー犯罪の解説を聴く学生たち

◆本学八木山キャンパスでプロ野球OBならびにプロゴルファーとの触れ合いイベント「ファンケル＆PGA（日本プロゴルフ協会）チャリティーin宮城県仙台市」が開催されました

本学八木山キャンパスで、「ファンケル＆PGA（日本プロゴルフ協会）チャリティーin宮城県仙台市」（主催・報知新聞社、公益財団法人報知社会福祉事業団、特別協賛・株式会社ファンケル）が7月7日(土)に開催され、県内に住む153人のファミリーが参加しました。

このイベントは、東日本大震災の復興支援活動の一環でもあり、キャッチボールやゴルフの基本となるスナッグゴルフを体験することで、野球やゴルフに興味を持ってもらうということが目的で、前巨人監督の原 辰徳氏、宮本 和知氏（元巨人）、鉄平氏（元楽天）、久保 文雄氏（元横浜大洋）のプロ野球OBがキャッチボール、ティー打撃、ゴロの捕り方などの指導を行い、日本プロゴルフ協会（PGA）会長でプロゴルファーの倉本 昌弘氏、槙岡 充浩氏、松井 丈氏、杉本 晃一氏、鈴木 之人氏といったPGAプロがスナッグゴルフを教えました。

参加したファミリーはプロ野球OBやプロゴルファーと触れ合いながら、それぞれの競技を楽しみました。また、本学学部学生会の学生もスタッフとして本イベントに参加し、一緒に汗を流していました。

◆「OPEN CAMPUS 2018」を開催

八木山・長町の両キャンパスにおいて、第1回 オープンキャンパス「希望の旅へ」を6月23日（土）に、第2回 オープンキャンパス「輝きの旅へ」を7月21日（土）・22日（日）の2日間にわたり開催しました。

当日は天候にも恵まれ、昨年を上回る高校生や保護者の皆さまにご来場いただきました。

学科紹介ブースでは、各学科とも展示に工夫を凝らし、在学生や教職員が精力的に説明を行い、学科の特徴や魅力を存分に来場者へ伝えていました。

8学科によるミニ講義や、小論文・面接対策講座、入試説明会では、高校生はもとより保護者の皆さまも多数集まり、進路決定の参考にしようと、講師の話に熱心に耳を傾けていました。

次回のオープンキャンパスにつきましては、下記のとおり予定しております。

Live講義 2018
日時：9月8日（土）、10：00～15：00
会場：八木山キャンパス

第3回 オープンキャンパス 「愉しみの旅へ」
（大学祭と同時開催）
日時：10月13日（土）・14日（日）、10：00～15：00
会場：八木山キャンパス

PROFILE 教員ピックアップ

情報通信工学科 三浦（みうら） 直樹（なおき） 准教授

◀◀◀

情報通信工学科 角田（つのだ） 裕（ひろし） 准教授 がご紹介

脳の情報処理を知る・測る

三浦直樹先生は2005年に東北大学大学院で博士（工学）の学位を取得され、東北大学加齢医学研究所 脳機能開発研究分野 助手、高知工科大学システム工学群 講師を経て、2011年4月に本学情報通信工学科に着任されました。

ご専門は脳機能計測を用いた高度情報システムのヒューマンファクタ研究で、これは人間の認知メカニズムを解明し、人間にとってわかりやすい情報システムの開発に応用するというものです。様々な環境下で脳の血流や心拍数、眼球運動などを計測し、脳の情報処理を知る・測ることで、ヒューマンエラーの発生メカニズムの解明などに取り組んでいらっしゃいます。いまや情報システムは我々の生活や社会基盤のあらゆる場所に溶け込んでおり、人間のちょっとしたミスがシステムの重大な誤動作を引き起こし、我々の生命や社会秩序にまで影響を与えないとも言い切れません。誰もが安心して使える情報システムの実現に向けて、三浦先生のご研究のさらなる発展を強く願っています。

三浦研究室の学生との実験の様子

information

夏休み中の図書館利用について

附属図書館の8月から9月の開館スケジュールは下記のとおりです。

附属図書館	開館時間	休館日
八木山本館	8月3日（金）～9月18日（火） 9時～17時	土、日、祝日
長町分館	8月3日（金）～9月18日（火） 9時～17時	土、日、祝日

※都合により、記載日以外に休館となる場合があります。最新の開館予定は、図書館HPに掲載の図書館開館カレンダーをご覧いただくか、直接お問い合わせください。
※学外利用者の方も、上記時間帯でのご利用となります。

開館スケジュール・貸出等については、下記へお問い合わせください。

■八木山本館／TEL:022-305-3179
■長 町 分 館／TEL:022-304-5508

どうぞお気軽にご利用ください。

topics

仙台市長から学生消防団員活動認証状が授与されました

学生消防団員活動認証制度は、消防団員として消防団活動に取組み、地域社会へ貢献した大学生等を市長が認証し、就職活動を支援することを目的に仙台市が今年度より創設いたしました。この度、太白消防団八木山分団に所属している本学学生3名（安全安心生活デザイン学科4年 田村 和真さん、川合 啓太さん、清水 康貴さん）が、これまでの活動が認められ、6月26日（火）に仙台市役所において 郡 和子 仙台市長より認証状が授与されました。

今後も消防団活動を通して、地域社会に貢献する活躍を期待いたします。

column

猿渡（さるわたり） 英代子（いよこ） ウェルネスセンター カウンセラー

「今、ここにあること」

4月に仙台城南高校からウェルネスセンターに異動となりました、猿渡英代子です。

私の専門はソーシャルワークで、主に青年期のメンタルヘルスなど精神保健福祉分野になります。

上西カウンセラーからお仕事を引き継ぐ中で、学生さんたちに対する思いを感じ、そのバトンを受け取りながら、これまで同様に学生さんと保護者の方々にとってお役に立てるよう努力して参りたいと思います。

さて、この一ヶ月を振り返ると、新しい職場に少しでも早く慣れようと焦ったり、不安になったりする日々でした。このようなときは、いろいろな考えが頭の中を駆け巡り圧倒されることがあります。ふと気がつくと「自動思考」が感情に影響を与えていることがあります。自動思考とは、私たちが気付かないうちに瞬時に浮かんでくる評価的な考え方です。「～すべきだ」「～なすべきだ」などがその例です。これらの考えは、じっくり自分の気持ちを吟味する前に浮かんでくるものなので、強い印象を与え、状態を支配していきます。これらの瞬時に浮かんでくるような考えとうまく付き合っていくためには、まず、今の自分の状態に気付くことが鍵となっていきます。

これからの主な行事予定（平成30年度）

9月
- 3日（月） 前期成績発表 追再試験時間割発表
- 4日（火）・5日（水） 前期補習
- 6日（木）・7日（金）・10日（月）・11日（火） 前期追再試験
- 14日（金） 夏季休業終了
- 18日（火） 後期オリエンテーション
- 19日（水） 後期授業開始

10月
- 12日（金） 大学祭準備 スポーツ大会
- 13日（土）・14日（日） 大学祭
- 19日（金） 創立記念日

11月
- 1日（木） AOVA入試
- 27日（火） 指定校推薦入試

12月
- 1日（土）・8日（土） 後期補講日
- 12日（水） 専門高校・総合学科入試 公募制推薦入試
- 25日（火） 冬季休業開始（～1／4まで）

本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。

〒982-8577
宮城県仙台市太白区
八木山香澄町 35-1
東北工業大学 入試広報課
TEL：022-305-3144
FAX：022-228-1813
E-mail：kohositu@tohtech.ac.jp